

## 【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年1月28日
【中間会計期間】	第23期中（自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日）
【会社名】	ロングライフホールディング株式会社
【英訳名】	LONGLIFE HOLDING Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 遠藤 正一
【本店の所在の場所】	大阪市北区中崎西二丁目4番12号梅田センタービル25階
【電話番号】	(06) 6373-9191
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 瀧村 明泰
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区中崎西二丁目4番12号梅田センタービル25階
【電話番号】	(06) 6373-9191
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 瀧村 明泰
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年7月30日に提出いたしました第23期中（自 平成19年11月1日 至 平成20年4月31日）半期報告書の記載事項に一部訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するために半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

###### (1) 連結経営指標等

#### 第2 事業の状況

##### 1 業績等の概要

###### (2) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 1 中間連結財務諸表等

###### (1) 中間連結財務諸表

###### ④ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等  
(訂正前)

回次	第21期中	第22期中	第23期中	第21期	第22期
会計期間	自 平成17年 11月1日 至 平成18年 4月30日	自 平成18年 11月1日 至 平成19年 4月30日	自 平成19年 11月1日 至 平成20年 4月30日	自 平成17年 11月1日 至 平成18年 10月31日	自 平成18年 11月1日 至 平成19年 10月31日
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	528,933	△151,404	<u>152,016</u>	892,730	△201,103
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△919,057	△808,930	<u>△582,134</u>	△1,256,884	△44,245

(注) 省略

(訂正後)

回次	第21期中	第22期中	第23期中	第21期	第22期
会計期間	自 平成17年 11月1日 至 平成18年 4月30日	自 平成18年 11月1日 至 平成19年 4月30日	自 平成19年 11月1日 至 平成20年 4月30日	自 平成17年 11月1日 至 平成18年 10月31日	自 平成18年 11月1日 至 平成19年 10月31日
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	528,933	△151,404	<u>133,589</u>	892,730	△201,103
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△919,057	△808,930	<u>△563,708</u>	△1,256,884	△44,245

(注) 省略

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前中間連結会計期間末に比べ2億31百万円減少し、7億83百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億52百万円（前中間連結会計期間は1億51百万円の支出）となりました。

その主な内訳は、収入要因として前受金の増加額2億81百万円、減価償却費2億3百万円などがあり、支出要因として売上債権の増加額5億23百万円、税金等調整前中間純損失1億7百万円、たな卸資産の増加額49百万円などがあつたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億82百万円（前中間連結会計期間は8億8百万円の支出）となりました。

その主な内訳は、支出要因として無形固定資産の取得による支出4億29百万円、有形固定資産の取得による支出98百万円、敷金・保証金の差入による支出48百万円などがあつたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2億46百万円（前中間連結会計期間は11億8百万円の収入）となりました。

その主な要因は、収入要因として長期借入金による純収入7億60百万円があり、支出要因として長期借入金の返済による支出2億66百万円、短期借入金の返済による支出1億41百万円、社債の償還による支出1億円などがあつたことによるものであります。

(訂正後)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前中間連結会計期間末に比べ2億31百万円減少し、7億83百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億33百万円（前中間連結会計期間は1億51百万円の支出）となりました。

その主な内訳は、収入要因として前受金の増加額2億81百万円、前払金の減少額2億25百万円、減価償却費2億3百万円などがあり、支出要因として売上債権の増加額5億23百万円、税金等調整前中間純損失1億7百万円、たな卸資産の増加額49百万円などがあつたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億63百万円（前中間連結会計期間は8億8百万円の支出）となりました。

その主な内訳は、支出要因として事業譲受に係る支出4億50百万円、有形固定資産の取得による支出56百万円、敷金・保証金の差入による支出46百万円などがあつたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2億46百万円（前中間連結会計期間は11億8百万円の収入）となりました。

その主な要因は、収入要因として長期借入金による純収入7億60百万円があり、支出要因として長期借入金の返済による支出2億66百万円、短期借入金の返済による支出1億41百万円、社債の償還による支出1億円などがあつたことによるものであります。

## 第5【経理の状況】

### 1【中間連結財務諸表】

(1)【中間連結財務諸表】

④【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

		前中間連結会計期間 (自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	前連結会計年度の要約連 結キャッシュ・フロー計 算書 (自 平成18年11月1日 至 平成19年10月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッ シュ・フロー				
22 その他		117,750	<u>178,265</u>	133,477
小計		<u>△129,364</u>	<u>211,266</u>	△152,890
営業活動によるキャッ シュ・フロー		△151,404	<u>152,016</u>	△201,103
II 投資活動によるキャッ シュ・フロー				
1 投資有価証券の取得 による支出		—	△9,891	—
2 定期預金の払戻による 収入		15,000	—	15,000
3 有形固定資産の取得 による支出		△788,907	<u>△98,649</u>	△915,475
4 有形固定資産の売却 による収入		550	261	968,098
5 無形固定資産の取得 による支出		△209	<u>△429,772</u>	△838
6 敷金・保証金の差入 による支出		△31,452	<u>△48,422</u>	△95,292
7 長期前払費用の増加 による支出		△2,397	△2,950	△5,255
8 繰延消費税に係る支 出		△2,495	△1,573	△16,733
9 その他		981	8,864	6,251
投資活動によるキャッ シュ・フロー		△808,930	<u>△582,134</u>	△44,245
VII 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	※	1,015,761	783,967	967,435

(訂正後)

		前中間連結会計期間 (自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	前連結会計年度の要約連 結キャッシュ・フロー計 算書 (自 平成18年11月1日 至 平成19年10月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッ シュ・フロー				
22 その他		117,750	<u>159,839</u>	133,477
小計		<u>△129,364</u>	<u>192,840</u>	△152,890
営業活動によるキャッ シュ・フロー		△151,404	<u>133,589</u>	△201,103
II 投資活動によるキャッ シュ・フロー				
1 投資有価証券の取得 による支出		—	△9,891	—
2 定期預金の払戻による 収入		15,000	—	15,000
3 有形固定資産の取得 による支出		△788,907	<u>△56,866</u>	△915,475
4 有形固定資産の売却 による収入		550	261	968,098
5 無形固定資産の取得 による支出		△209	<u>△4,752</u>	△838
6 敷金・保証金の差入 による支出		△31,452	<u>△46,800</u>	△95,292
7 長期前払費用の増加 による支出		△2,397	△2,950	△5,255
8 繰延消費税に係る支 出		△2,495	△1,573	△16,733
9 事業譲受に係る支出	※2	—	<u>△450,000</u>	—
10 その他		981	8,864	6,251
投資活動によるキャッ シュ・フロー		△808,930	<u>△563,708</u>	△44,245
VII 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	※1	1,015,761	783,967	967,435

## (中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

前中間連結会計期間 (自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年11月1日 至 平成19年10月31日)
※現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成19年4月30日現在)	※現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成20年4月30日現在)	※現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成19年10月31日現在)
現金及び預金勘定 1,195,761千円	現金及び預金勘定 963,967千円	現金及び預金勘定 1,147,435千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △180,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △180,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △180,000
合計 1,015,761	合計 783,967	合計 967,435

(訂正後)

前中間連結会計期間 (自 平成18年11月1日 至 平成19年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年4月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年11月1日 至 平成19年10月31日)
※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成19年4月30日現在)	※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成20年4月30日現在)	※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成19年10月31日現在)
現金及び預金勘定 1,195,761千円	現金及び預金勘定 963,967千円	現金及び預金勘定 1,147,435千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △180,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △180,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 △180,000
合計 1,015,761	合計 783,967	合計 967,435
	※2 事業譲受に伴い増加した資産及び負債の主な内訳	
	流動資産 14,981千円	
	固定資産 61,134	
	のれん 422,251	
	資産合計 498,367	
	流動負債 47,367	
	固定負債 1,000	
	負債合計 48,367	
	事業譲受の対価 450,000	
	譲受けた現金および現金同等物 —	
	差引：事業譲受による支出 450,000	